

## 令和7年度 農業・食品産業技術総合研究機構 依頼研究員受入れ態勢

研究センター・部門	所在地	住所	電話	メールアドレス
<b>畜産研究部門</b>				
本所	1	〒305-0901 茨城県つくば市池の台2		
那須塩原研究拠点	2	〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松768		
御代田山地放牧研究拠点	3	〒389-0201 長野県北佐久郡御代田町大字塩野375-716		
つくば研究拠点観音台第1	4	〒305-8666 茨城県つくば市観音台2-1-18		
担当者:	研究推進室長 作本	029-838-8617	sh-shogai-nilgs@naro.go.jp	
	研究推進室 渉外チーム 丸尾	029-838-8292	同上	

※宿泊施設「有」でも、部屋数に限りがありますので、利用できない場合があります。

受入研究領域	グループ	所在地	受入れできる試験研究内容	受入れ期間 (か・月)	受入れ人数 (人)	受入れ時期 (月・日～月・日)	宿泊施設の 有無	備 考
高度飼養技術研究領域	スマート畜産施設グループ	1	家畜ふん尿の処理および環境影響の把握と低減に関する研究	1 ~ 6	1 ~ 3	5月 ~ 11月	有	時期・期間・研究内容については要相談
高度飼養技術研究領域	繁殖システムグループ	1	家畜の繁殖機能制御機構に関する研究	1 ~ 6	1 ~ 2	6月 ~ 3月	有	時期・期間・研究内容については応相談
高度飼養技術研究領域	繁殖システムグループ	2	牛の繁殖性評価に関する研究	1 ~ 6	1 ~ 2	5月 ~ 3月	有	研究内容等は事前に相談の上決定。一度の受入は1名を希望
畜産飼料作研究領域	飼料作物育種グループ	2	牧草の育種法	1 ~ 6	1	4.1 ~ 3.31	有	
畜産飼料作研究領域	飼料作物育種グループ	2	イネ科作物のストレス耐性の検定方法	1 ~ 6	1	4.1 ~ 3.31	有	
畜産飼料作研究領域	飼料生産利用グループ	2	飼料用トウモロコシの生産性評価および栽培技術に関する研究	1 ~ 6	1	4.1 ~ 11.30	有	
畜産飼料作研究領域	飼料生産利用グループ	2	飼料作物の施肥・播種・管理・収穫・調製等の作業技術に関する研究	1 ~ 6	1 ~ 2	4.1 ~ 11.30	有	
畜産飼料作研究領域	飼料生産利用グループ	2	飼料作物・未利用資源の飼料調製技術、飼料評価	3 ~ 6	1	要相談	有	実施内容詳細、期間等について事前に相談、調整のうえ決定
食肉用家畜研究領域	食肉品質グループ	1	牛肉の特性や飼養条件に関連する指標の研究	3 ~ 6	1	6.1 ~ 3.31	有	実施内容詳細、期間等について事前に相談、調整のうえ決定
食肉用家畜研究領域	食肉品質グループ	1	(1)骨格筋筋原線維形成に関する研究 (2)骨格筋肥大に関する研究	3 ~ 6	1 ~ 2	4.1 ~ 3.31	有	期間・時期は変更可。骨格筋細胞、筋原線維性タンパク質など骨格筋全般に興味のある方
食肉用家畜研究領域	食肉品質グループ	1	乳酸菌等のプロバイオティクス特性評価に関する研究	1~3	1	随時	有	時期・期間・課題内容については応相談
食肉用家畜研究領域	食肉品質グループ	1	デジタル画像を用いた食肉品質評価	随時	1	随時	有	
食肉用家畜研究領域	食肉用家畜モデル化グループ	1	牛、豚、鶏の経済形質に関する遺伝子に関する研究	1 ~ 3	1 ~ 2	随時	有	時期・期間・課題内容については応相談
食肉用家畜研究領域	食肉用家畜飼養技術グループ	1	鶏における栄養・飼料・代謝に関する研究	1 ~ 3	1 ~ 2	5.8 ~ 12.23	有	時期・期間に関しては応相談
食肉用家畜研究領域	食肉用家畜飼養技術グループ	1	肥育豚のアミノ酸要求量に関する研究	3	1 ~ 2	4月 ~ 9月	有	時期・期間については応相談
乳牛精密管理研究領域	乳牛精密栄養管理グループ	1	乳牛における栄養・飼料・代謝に関する研究ならびにGHG削減飼料の開発	3	1 ~ 2	5月 ~ 3月	有	時期・期間については応相談
乳牛精密管理研究領域	乳牛精密栄養管理グループ	1	家畜生産性向上のための育種改良技術に関する研究	3	4	5.7 ~ 8.1	有	同時期スタート、延長可、畜種(乳牛、肉牛、豚、鶏)を問わない
乳牛精密管理研究領域	乳牛精密栄養管理グループ	2	ウシからのメタノ排出量測定手法	随時	1	随時	有	
乳牛精密管理研究領域	乳牛繁殖性向上グループ	1	高品質な牛体外受精卵の生産・選別技術に関する研究	1 ~ 3	1	5月 ~ 3月	有	時期・期間については応相談
動物行動管理研究領域	動物行動管理グループ	1	牛の自律神経系機能変化に関する研究	1 ~ 3	1 ~ 3	応相談	有	
動物行動管理研究領域	動物行動管理グループ	4	鳥獣害対策(野生鳥獣の野外調査技術、物理的侵入防止技術)	要相談	1	要相談	有	時期・期間・人数については要相談